

講義名	対2)19～TOEIC準備/15～英語資格試験準備（GSP・上級）			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

資格試験の出題形式に慣れるとともに、解答に必要なリスニング・リーディングを中心とした英語力の増強を図る。

到達目標

- 資格試験の出題形式に慣れることができる。
- 資格試験の問題を実践的に解答でき、正解の理由が分かるようになる。

提出課題

- オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。
- 小テスト（複数回）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストについては、解答後ただちにスコア等がオンラインで確認可能。内容については講義内で説明を加える。

評価の基準

授業中の活動状況50%・小テスト15%・定期試験35%。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。規定以上の回数欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。

教科書

.初回講義で指示。

参考図書

.なし。

その他

授業中に適宜資料を配布する。

授業計画

1. ガイダンス・Pre-test
2. challenge 1
3. challenge 2
4. challenge 3
5. challenge 4
6. challenge 5
7. challenge 6
8. challenge 7
9. challenge 8
10. challenge 9
11. challenge 10
12. challenge 12
13. challenge 13
14. challenge 14
15. challenge 15

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：次回範囲の単語・意味調べ（2時間程度）
復習：毎回の範囲の追加練習問題（2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

資格試験の準備を通して「自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができる」とともに、専攻学生に求められる「企業マネジメントに関する幅広い知識」・経済学部生に求められる「社会に関するこれまでの学問的成果」・人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化」といった現実社会の様々なテーマに習熟し、「コミュニケーション能力」を身につけることを目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材配布・小テスト・期末試験の実施にはMoodleを利用する。

実務経験の有無及び活用

備考